

第40回夏季大学「新しい気象学」開講のお知らせ～気象のシミュレーション～

教育と普及委員会

主 催：日本気象学会

後 援：気象庁，日本地学教育学会，(財)気象業務支
援センター，日本気象予報士会

日本気象学会は，最新の気象学の普及を目指して，毎年夏季大学を開催しています。これまで，高校の理科の先生方を想定したレベルとしておりましたが，今回は，高校で物理を履修した大学初年次程度のレベルといたします。

今年のテーマは「気象のシミュレーション」です。コンピュータ演算能力の向上，大気のリモート観測技術やデータ同化技術の発展などにより，気象（あるいは地球流体）のシミュレーション技術は飛躍的に発展し，現在の天気予報の基盤技術のひとつとなっています。数値予報の黎明期から今日までの数値予報の発展の歴史，および最先端の気象シミュレーションの講義を通じて気象シミュレーションの意義や役割を明らかにし，さらに，簡単な計算機実験によって数値シミュレーションの基礎を学んでいただきたいと考えています。

○日程，講義題目，講師

平成18年 8月5日（土）

10：00～11：30 「気象シミュレーションの意義と役割」

時岡達志（地球フロンティア研究センター）

13：00～14：30 「数値予報の歴史と現状，課題」

増田善信（元気象庁）

15：00～16：30 「実際の数値予報：観測から予報まで」

本田有機（気象庁数値予報課）

8月6日（日）

10：00～11：30 「地球シミュレータを用いた顕著現象のシミュレーション研究」

榎本 剛（地球シミュレータセンター）

13：00～16：30 「数値計算の基礎—簡単なモデルを例にしたシミュレーションの手順」

大関 誠（気象研究所）

気象庁案内図



○講義会場

気象庁講堂（東京都千代田区大手町1-3-4）

会場の地図は，気象庁ウェブサイト (<http://www.kishou.go.jp/intro/map.html>) をご覧ください。

○募集対象と人数

高校の物理で履修する程度の知識をお持ちの方（講義では簡単な微分方程式を使用します）

定員50名程度

○受講料（消費税含む）

一般5,000円，学会員・学生4,500円

参加申込受付後，郵便口座をお知らせしますので，そちらに受講料の振込をお願いします。

○講義資料

本年は，夏季大学テキストを作成しません。代わりに，受講者の方には，講義レジュメを事前に配布します。また，開催後に，講義まとめ録を「教育と普及委員会」ウェブサイトに掲示する予定です。内容に興味はあるが都合がつかないという方は，そちらをご利用ください。

○参加申込方法

インターネットの普及を受け、ウェブ・フォームによるオンライン受付を原則とさせていただきます。詳細は、「教育と普及委員会」ウェブサイト (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/kyoikuhukyu/>) をご覧ください。インターネット接続環境をお持ちで

ない方は、下記事務局にお問い合わせください。

○申込締切

平成18年7月14日（金）

○お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局

Tel：03-3212-8341(内線2546), Fax：03-3216-4401
